

(様式第4号)

上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	平成28年9月30日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田市市民プラザ・ゆう 2階 大会議室
4 出席者	古田睦美会長、竹田貴一副会長、清水博夫委員、岩野威生委員、竹花みい子委員、田中晋委員、新井敦子委員、若尾伸子委員、廉澤輝樹委員
5 市側出席者	片岡市民参加協働部部長、柳沢人権男女共同参画課長、佐藤課長補佐兼武石市民サービス係長、大塚真田市民サービス課長、土屋丸子市民サービス課長、久保田課長補佐兼男女共同参画係長、糸魚川(株式会社めいほう) 男女共同参画係 酒井
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年10月6日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (柳沢課長)
- 2 あいさつ・人事通知書の交付 (片岡部長)
- 3 職員・委員紹介
- 4 会長・副会長の選出 会長・古田睦美委員、副会長・竹田貴一委員
- 5 審議事項
 - (1) 第2次計画のH27年度実施状況・H28年度実施計画及び事業評価シートについて
 - (委員) 評価シートの3ページ目の上から6段目の国際的視野の育成と国際理解の推進のところ、秘書課が該当事業なしと回答しているがどうということか
 - (事務局) 以前は、北京会議に行くなどの事業もしていたが、現在は男女共同参画の事業としては実施していないということ。
 - (委員) 評価シートの4ページ目の下から4段目の地域のリーダーとして活躍する女性の育成、4ページ裏の上から2段目の自主的な活動への支援、5ページの下から3段目の防災、環境、観光等の分野における男女共同参画の推進などが「該当なし」となっている。
 - (事務局) 庁内でワーキングの時間をとって、次回に反映させ検討をしていく。
 - (委員) 評価D(廃止)のものが3課あり、今後廃止となっているがそれはどうということか。
1ページ目の丸子市民サービス課は、丸子地域としては取り組まないが、市としてはやっていくということでしょうか？
 - (丸子市民サービス課長) 組織改正があり、合併時は活発に活動していたが、10年経ってかわってきているので、やり方を考えていかないといけない。映画の実行委員も数名しか集まらず、上映会も誘客優先となり、男女共同参画の事業として見直す必要がある。
 - (委員) 丸子地域では、目的達成のためにどうしたらよいか検討して欲しい。
9ページの公民館の事業で、ひとり親家庭の生活と自立支援が廃止となっているが、今後は男女共同参画課の方で実施していくのか？
 - (事務局) ひとり親家庭の関係は、今後は公民館活動だけではなく事業化する方向で検討したい。
 - (委員) 事業評価は、ゴールをどこに定めているのか。いつまでに・・など期限はあるか。
 - (事務局) 事業評価は、第2次計画の評価である。
 - (委員) 目標値とは？ どうやって評価しているのか。基準があるのか？ それがないと次のステップにつなげない。
 - (事務局) 自己評価になるため、明確な基準はないが目標値の設定は20項目ある。
 - (委員) 市の施策は外部評価があるか？
 - (事務局) あらためてはないが、この審議会で意見を聞いていく。

(2) 第 3 次計男女共同参画計画の骨子について

(事務局説明)

(委員) 4 施策の体系図では、基本目標のところ【 づくり】で統一されていてよい。目標 1 の「女性が活躍できる」は、2 重になっているので、一つとったほうがよいのでは？

(委員) 年齢層はどう設定されているのか？

(会長) 計画のもとになる男女共同参画基本法があり、全ての人を対象。

この計画は、今後行政が何をやっていくかを定めるもの。

(事務局) 全世代において進める。

(会長) 計画を市民向けに、やさしい言葉でつくったらどうか

(事務局) 計画については、ダイジェスト版をつくり、市民に伝わりやすいようにする。

(会長) 5 ページの 3 重要な視点と取り組みで、 様々な主体との協働 と 6 ページの団体や活動者との協働と・・継承と同じ様な言い回しだが、5 ページの方の 3 行目に関係団体と「個人」も入れた方がよい。事業者の中には、自治会も入っているのであれば、企業や自治会などの事業者とした方がよいのでは？

(委員) 計画内容で、ワークライフバランスでは、育児が出てくるが介護についてはあまり語られないので、介護についても入れた方がよい。

(委員) 待機児童ではなく、介護の待機はあるのか

(事務局) 入所やサービスの待機は大勢いる。

(委員) 法の改正によって、介護 3 以上でないと施設へ入居できないようになり、サービスを使って在宅介護も増えている。

(委員) ワークライフバランスに介護についても入れていくとよい。

(会長) 今後 10 ページの【評価指標】についても考えて意見をいただく

次回は、11 月 11 日 (金) 午後 2 時から

4 閉会